

## もののけ

「女優1名、報酬一億円、委細面談」

月活映画大部屋の掲示板に一際異彩を放つ募集が人盛りを作っていた。

無理もない。通常5人とか10人とか十羽一絡げの端役募集用の掲示板に女優1名である。それに報酬がけた違いで、看板スターには及ばないものの、この大部屋俳優には決して手にいれることのない報酬だ。

女の熱気でむせ返る面接会場正面脇の扉が開きプロデューサーが席につくと、それまでの喧騒が嘘のように会場はシーンと静まり返る。

「大勢の方にお集まりいただきありがとうございます」

しわぶき一つ聞こえない。一言も聞き逃すまいと全員が全身を耳にして正面の席についたプロデューサーを凝視する。

「この春にランクインする社運を掛けた映画の大変に大事な役を演じていただきます。ただ、この役だけは全編に渡ってヌードで演じていただきます。」

以上までのところで興味を無くされた方はお引き取りください」

ざわざわとした喧騒が広がり、やがて肉体に自信のない年増俳優や性格俳優、清純派路線の女優など多くの人が退席し、会場は半分位になった。

「続いて条件を申し上げます。」

この役を全うする為にランクインまでの間にあることをしていただきます。またランクアップ、場合によってその先までのほぼ2年間に渡って世間と隔絶し、24時間完全に自由を拘束させて貰います。

以上までのところで興味を無くされた方はお引き取りください」

ほぼ2年間に渡っての完全拘束条件はそれぞれ生活を抱えている人々にはきつい条件で、更に半分ほどに減ってしまった。

「だいぶ減ってしまいましたが、これから大事なことを申し上げます。

つきましてはここで聞いたことは一切決して外に漏らさない、完全に秘密を守ることを誓う念書に署名してください」

残った女優達に紙が配られ回収された。

「それでは申し上げます。今回社運を賭した映画製作にあたり、この映画の大変大事な役どころの「もののけ」を演じていただきますが、そのためにその肉体をもののけの姿に改造してもらいます。

特殊メイクやコンピュータグラフィックも駆使しますが、それらでは描ききれない部分もあり、ご自身の肉体を改造して出演していただきます。

以上までのところで興味を無くされた方はお引き取りください」

「ランクアップしたあとは普通の生活に戻れるのでしょうか？」

「元の姿に戻ることは出来ません。その後は一生その姿で生きてゆくことになります。普通の生活にもどれなくても構わないと意気込みのある方だけ残ってください」

そしてただ一人を残して誰も居なくなった。

白木真弓

彼女にはどうしてもまとまったお金が必要だった。たとえその若い肉体と人生をささげても手に入れる必要に迫られていた。というよりそのお金が用意できなければ命すら危うい状況だ。

風俗でこの身体が誰とも分らない男どもの玩具にされるくらいなら、その後一生そのもののけの姿で生きてゆくことなどなともないと思っていた。

「それではその誓約書に署名してください」

署名捺印を確認し

「それでは一週間で身の回りの整理をしてこちらに出頭してください。

必要なものはすべてこちらで用意しますので何も持たずにおいでください」

「あ、あのー」

白木が始めて口を開いた。

「お金は何時いただけますか」

「必要でしたらすぐに差し上げますが・・・」

白木の顔にぱっと喜びが浮かんだ。

「助かります。是非お願いします」

「それでは後ほど事務所で受け取り下さい。それでは一週間後にお会いしましょう」

白木にはお金を持ち逃げできないことなど十分に承知していた。

そしてその金を使ってしまっただけではもう決して後戻りできない事も痛いほど承知していた。

今までの白木の人生は運のない、やることなすこと全て裏目に出るそんな人生で借金だけが膨らんでいた。

白木は僅かな家財道具も全て売り払い、安アパートを引き払い、受け取ったお金で今までのしがらみを全て精算し、一週間後、それこそ身一つで事務所に出頭した。